

社会医療法人 緑社会
金田病院
KANEDA HOSPITAL
 ●みどり訪問看護ステーション
 ●指定居宅介護支援事業所みどり

公益財団法人
 日本医療機能評価機構認定病院
 公益社団法人 日本人間ドック学会
 人間ドック健診施設機能評価認定施設

〒719-3193 岡山県真庭市西原63
 TEL (0867) 52-1191(代) FAX (0867) 52-1917
 http://www.kaneda-hp.com

新年のご挨拶



社会医療法人 緑社会
 理事長 金田 道弘

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年1年間を振り返ってみますと、昨年4月、美咲町立美咲町西川診療所(へき地診療所)の指定管理を受託しました。旧旭町地区で唯一の医療機関が昨年3月末をもって閉院し無医地区になるため、地方自治法に基づく指定管理者制度により美咲町から当法人が指定されたものです。岡山医療センターと鏡野町国民健康保険病院のご支援を頂き、週3日・午前の診療を継続しています。

常勤医師の異動について申し上げます。前任の整形外科医長・吉鷹輝仁医師の後任として、昨年4月に岡山大学整形外科から外傷・骨折診療を専門とする整形外科医長・望月雄介医師が着任しました。また、岡山大学岡山県地域枠1期生・内科山本高史医師の後任として、同じく昨年4月に同3期生の石田智治医師が着任しました。それぞれ地域医療に全力を尽くしています。

昨年4月に新設した金田病院医療安全管理部長として、前岡山大学病院看護研究・教育センター長・教授、元岡山大学病院看護部長の保科英子が着任し、医療安全管理システムに画期的な変革をもたらしました。

私共の病院が平成17年に岡山県第1号

の合格となった、公益社団法人日本人間ドック学会・人間ドック健診施設機能評価の3回目の更新審査を、昨年11月受審しました。厳しい書類審査・訪問審査に合格し、皆さまの生涯の健康管理に対する責任を果たしてまいります。

さて、わが国の少子高齢化・人口減少を、安倍総理は「国難とも呼ぶべき危機」と表現しました。日本の人口ピークは2010年頃でしたが、私たち真庭では1950年頃にピークを迎え、60年も早く人口減少新時代を迎えています。地域が存続するためには地域医療の維持・継続が不可欠です。将来にわたり持続可能な医療提供体制を地域毎に構築するため、地域医療構想調整会議が真庭圏域をはじめ全国各地で開催されています。

私たちは、地域の皆さまにこれからも安心医療をお届けするため、県内の基幹型高次機能病院、地域の医療機関・消防救急・介護施設等と緊密に連携し、私たちの使命と責任を果たしてまいります。働き方改革に総力で取り組みます。専攻医・研修医・医学生・看護学生をはじめとする明日の医療を担う人材育成に積極的に参画します。

皆さまのあたたかいいご支援に心より感謝申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和2年の標語

毎年12月に全職員を対象に標語を募集しています。今回の応募総数123通の中から、経営管理会議での厳選なる審査によって本年の標語が決定しました。

新時代
 変わる医療と
 変わらぬ想い

令和2年の標語

地域医療研修医師



川崎医科大学総合医療センター
 ひび 京佑

学生実習

○真庭高等学校
 専攻科

8名

1月の金田病院外来診療日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	●	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■●：内科・外科当番日(午前9時～午後5時)
 ■：休日急患担当医(午前9時～午後5時)
 ■：外科当番日(小児は小児科医師が診療)
 □：通常診療 □：午前診療 □：休診

令和2年の標語 「新時代 変わる医療と 変わらぬ想い」

緑社会の理念
 金田病院の理念
 金田病院の基本方針

- 奉仕・仁愛・誠実・研鑽・調和
- 医療を通じて地域社会と職員の幸福に貢献します
- 安全で良質な医療を提供します
- 期待される役割を果たします
- 機能分化と連携を一層推進します
- 職員が笑顔で働ける病院を目指します

